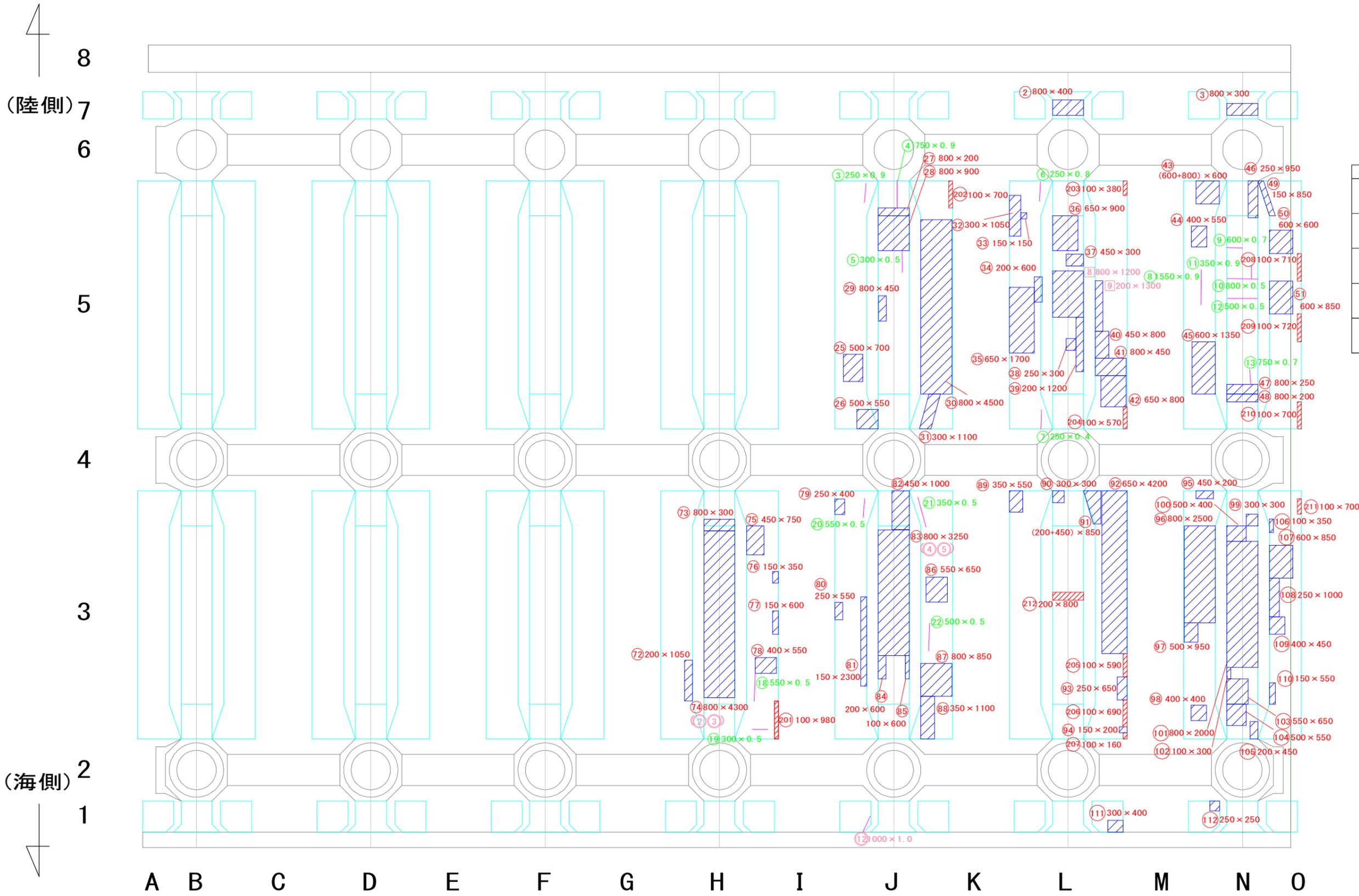


四日市コンテナ岸壁W27 縦梁部補修箇所

11BL



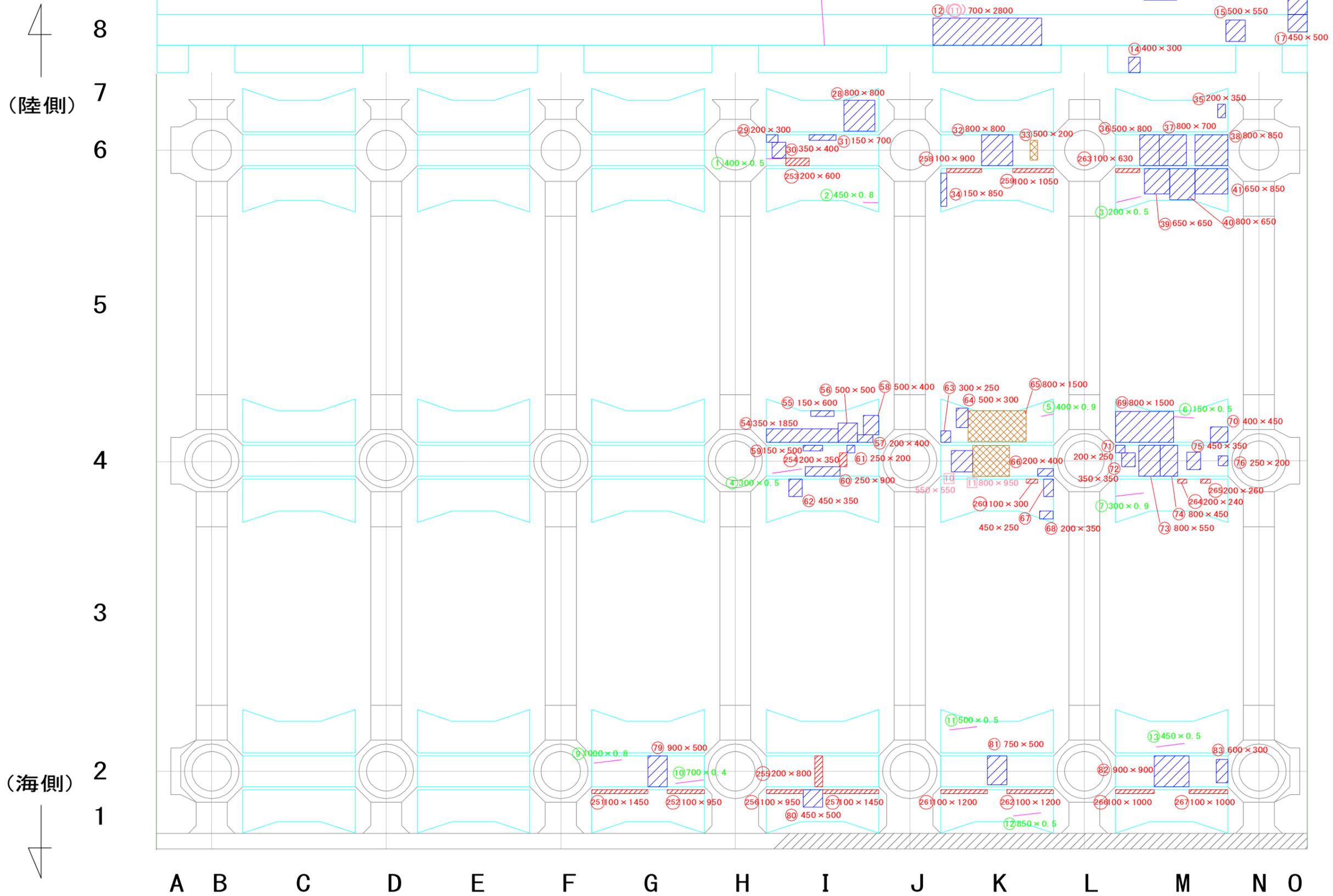
断面修復工			
位置	補修		
	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)
【縦梁】	左記	左記	35.227

凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ	—	浮き	
遊離石灰	+++++	はく離・鉄筋露出	
コールドジョイント	~~~~~	ジャンカ	
型枠・木片		欠損	
導通用			

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 縦梁部補修箇所		
縮尺	1:50	図面番号	1
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 横梁・前垂れ部補修箇所

11BL



断面修復工

位置	補修		面積 (m^2)
	損傷寸法 (m)	箇所	
【横梁】	左記	左記	18.890

凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ	—	浮き	
遊離石灰	+++++	はく離・鉄筋露出	
コールドジョイント	~~~~~	ジャンカ	
型枠・木片		欠損	
導通用			

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 横梁・前垂れ部補修箇所		
縮尺	1:50	図面番号	2
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 床版部補修箇所

11BL



(陸側)

8

7

6

5

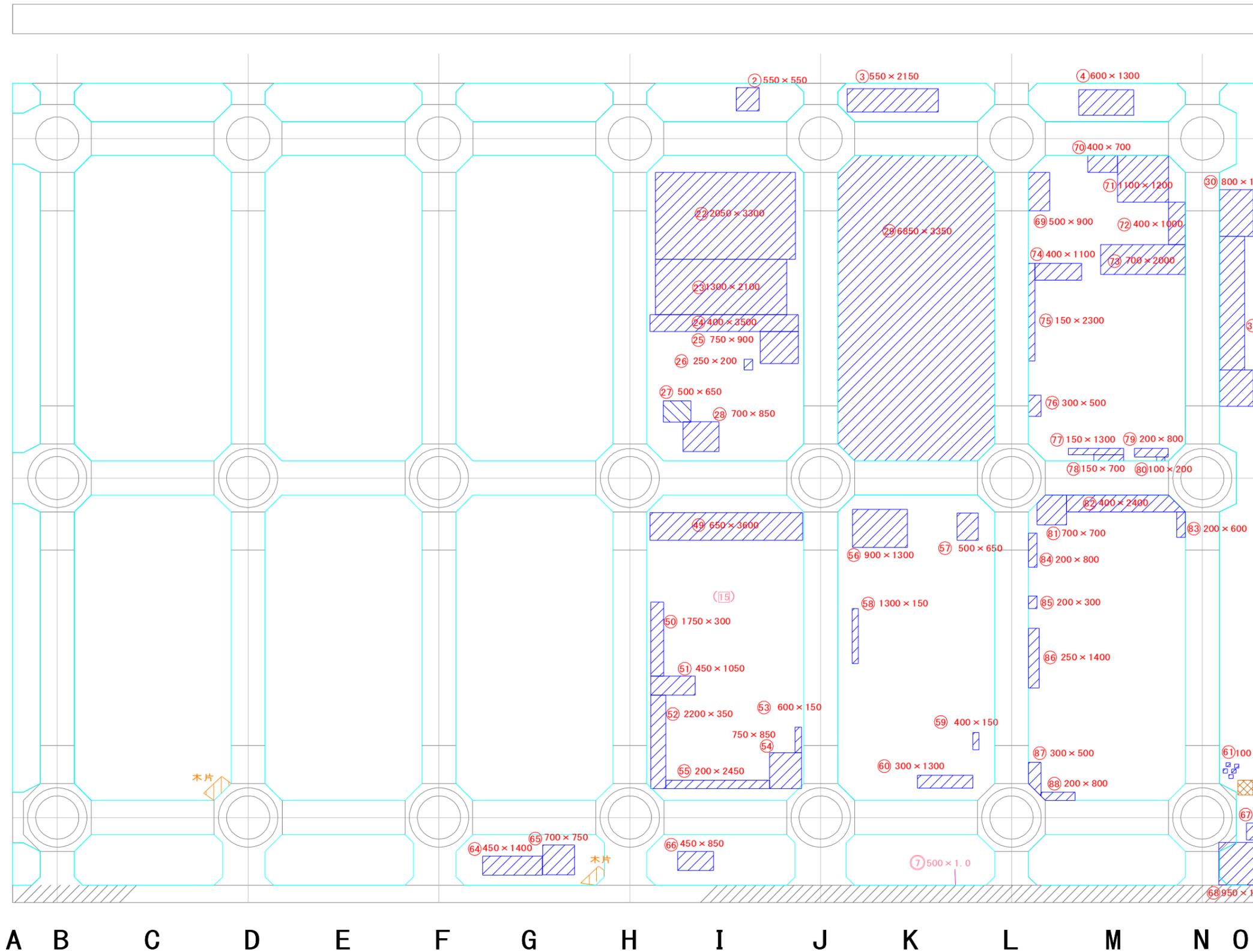
4

3

2

1

(海側)



断面修復工

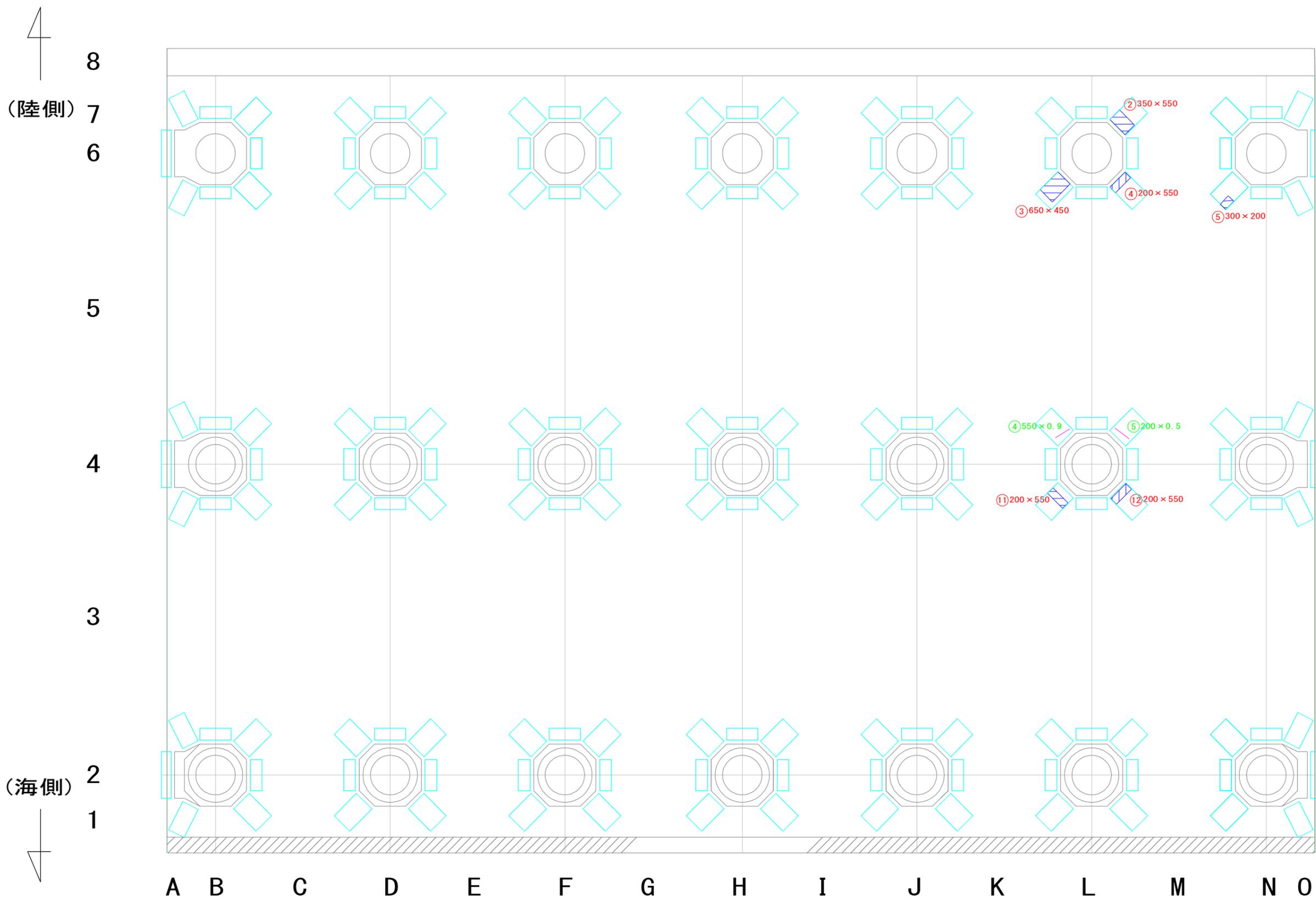
位置	補修		
	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)
【床版】	左記	左記	58.738

凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ	—	浮き	
遊離石灰	+++++	はく離・鉄筋露出	
コールドジョイント	~~~~~	ジャンカ	
型枠・木片		欠損	

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 床版部補修箇所		
縮尺	1:50	図面番号	3
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 杭頭部補修箇所

11BL



断面修復工

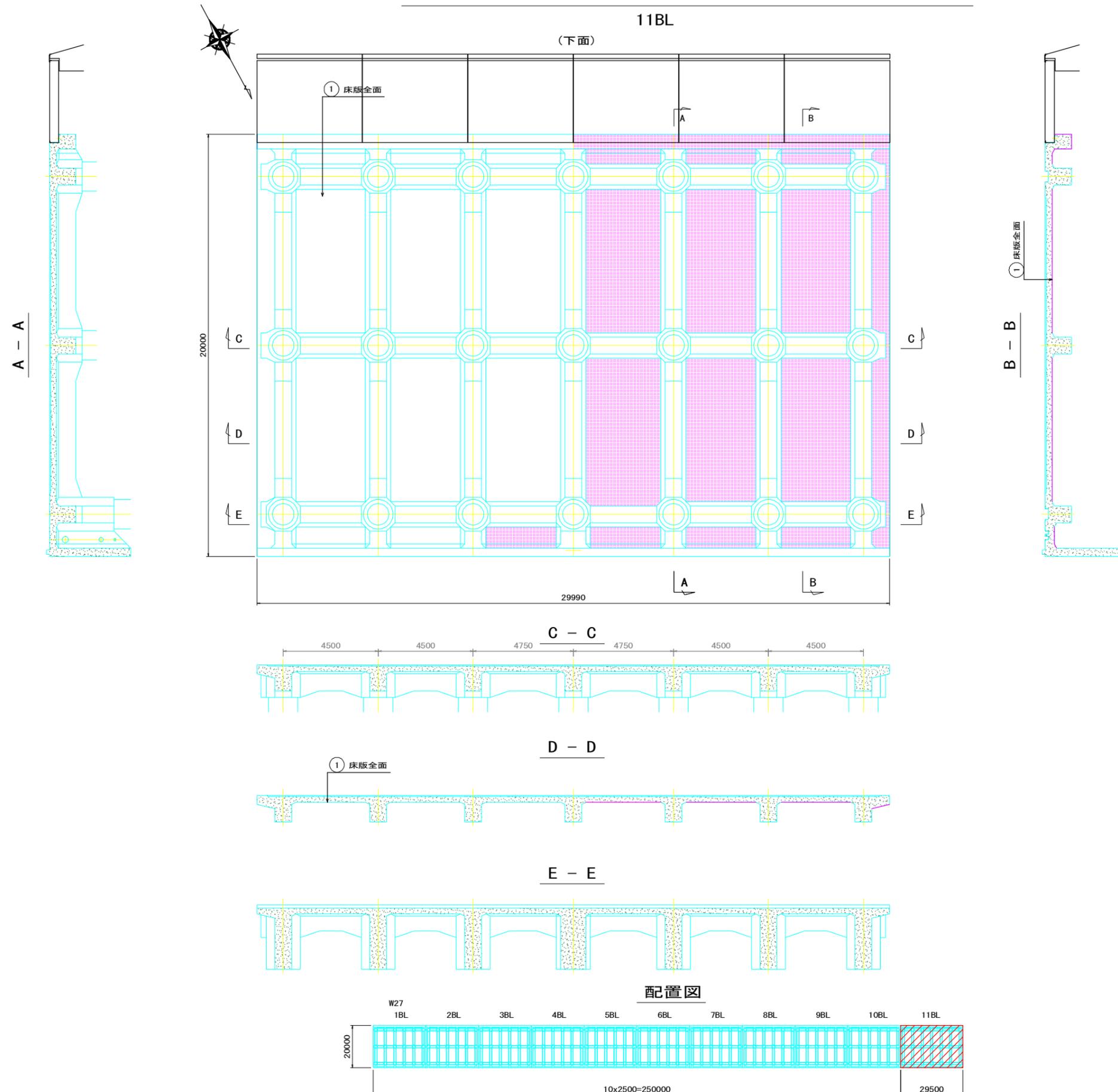
位置	補修	
	損傷寸法 (m)	箇所 面積 (㎡)
【杭頭】	左記	左記 0.875

凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ	—	浮き	
遊離石灰	+++++	はく離・鉄筋露出	
コールドジョイント	~~~~~	ジャンカ	
型枠・木片		欠損	

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 杭頭部補修箇所		
縮尺	1:50	図面番号	4
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 補修図 (1) S=1:100



表面保護工(シラン系、ケイ酸塩系併用型)

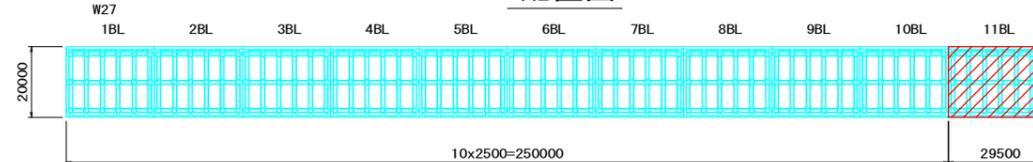
位置	補修		
	損傷寸法 (m)	箇所	面積 (㎡)
【床版】	左記	左記	207.042

凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひび割れ	—	浮き	斜線
遊離石灰	+++++	はく離・鉄筋露出	網目
コールドジョイント	~~~~~	ジャンカ	点状
型枠・木片		欠損	斜線
梁全面 表面保護工			青塗り
床版全面 表面保護工			ピンク塗り
床版全面 断面修復工			斜線

注記

- 1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。
- 2) 各補修方法の詳細は、四日市コンテナ岸壁W27 補修要領図のこと。
- 3) ※は、断面修復のはつり厚を3cmとする。

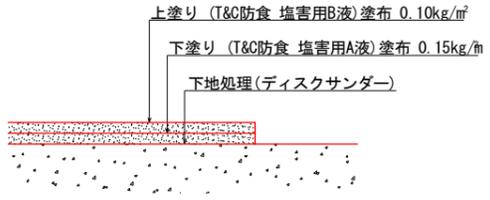
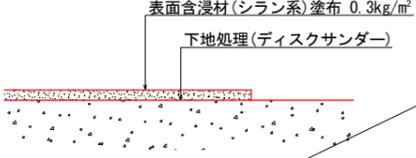
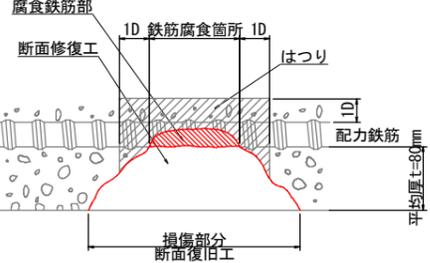
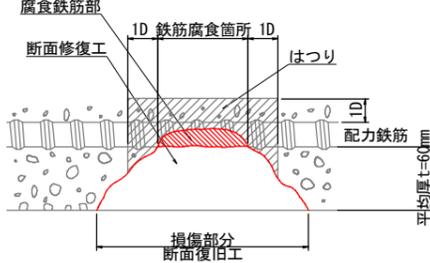
配置図



工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 表面保護工		
縮尺	1:100	図面番号	5
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 補修要領図(1) S=1:50

断面修復工・表面保護工・ひびわれ補修工

適用	補修標準図1	<h3>表面保護工(シラン系、ケイ酸塩系併用型)</h3>  <p>注) 1. T&C防食(塩害用)同等品以上を使用すること。 2. 1.の同等品以上とは、塩化物イオンの実効拡散係数が$0.33\text{cm}^2/\text{年}$より小さいものを示す。 3. 塗布前に下地処理を行うこと。また、塗布面に付着している泥、ほこり等を除去すること。 4. 下塗り材塗布の際は、塗布面の水分量が9%以下であることを確認し、2回に分けて塗布し、12時間以上養生を行うこと。 5. 上塗り材塗布の際は、コンクリート表面が濡れていないことを確認し、1~2回に分けて塗布を行い、24時間以上養生を行うこと。</p>	適用	補修標準図2	<h3>表面保護工(シラン系)</h3>  <p>注) 1. 塗布前に下地処理を行うこと。また、塗布面に付着している泥、ほこり等を除去すること。 2. コンクリート表面が濡れている状態での塗布は行わないこと。 3. 塗布後、48時間は塗布面が直接水滴等にさらされない様養生を行うこと。 4. 透水抵抗性・吸水抵抗性・塩化物イオン浸透抵抗性が80%以上とすること。</p>																																								
適用	補修標準図3	<h3>梁・断面修復(はつり厚130mm)</h3>  <table border="1" data-bbox="697 997 1335 1123"> <caption>断面修復工数量表</caption> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はつり工</td> <td></td> <td>m³</td> <td>9.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断面修復材</td> <td>セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系</td> <td>m³</td> <td>13.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>殻処理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>9.10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. はつり工の厚さを、平均$t=80\text{mm}$として、断面復旧工を算出。 2. 鉄筋径を$\phi 25$として、数量を算出。 3. はつり工数量は断面復旧材の70%と推定して算出。 4. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面復旧工を行うこと。 5. 鉄筋背面及び発錆範囲より1D分まではつりを行うこと。 6. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。 7. 下地処理にプライマー塗布すること。 8. 使用材料の性能は、特記仕様書の規格を満足するものとする。</p>	名称	規格	単位	数量	備考	はつり工		m ³	9.10		断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	13.00		殻処理		m ³	9.10		適用	補修標準図4	<h3>床版・断面修復(はつり厚90mm)</h3>  <table border="1" data-bbox="1958 997 2597 1123"> <caption>断面修復工数量表</caption> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はつり工</td> <td></td> <td>m³</td> <td>6.30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断面修復材</td> <td>セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系</td> <td>m³</td> <td>9.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>殻処理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>6.30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. はつり工の厚さを、平均$t=60\text{mm}$として、断面復旧工を算出。 2. 鉄筋径を$\phi 16$として、数量を算出。 3. はつり工数量は断面復旧材の70%と推定して算出。 4. 鉄筋のかぶり量が少なく、表面が劣化していると思われる箇所の周辺については損傷箇所と同様にはつり工を行い、断面復旧工を行うこと。 5. 鉄筋背面及び発錆範囲より1D分まではつりを行うこと。 6. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。 7. 下地処理にプライマー塗布すること。 8. 使用材料の性能は、特記仕様書の規格を満足するものとする。</p>	名称	規格	単位	数量	備考	はつり工		m ³	6.30		断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	9.00		殻処理		m ³	6.30	
名称	規格	単位	数量	備考																																									
はつり工		m ³	9.10																																										
断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	13.00																																										
殻処理		m ³	9.10																																										
名称	規格	単位	数量	備考																																									
はつり工		m ³	6.30																																										
断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	9.00																																										
殻処理		m ³	6.30																																										

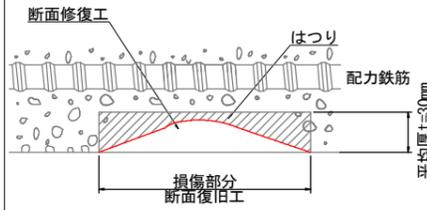
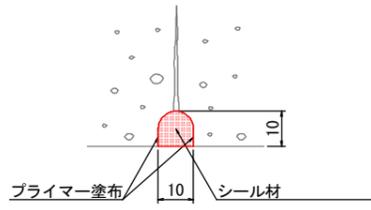
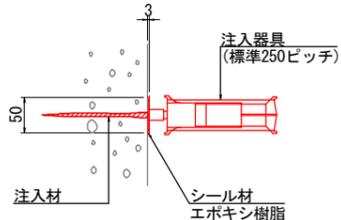
注記

- 1) 特記なき材質は、SS400とする。
- 2) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 補修要領図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	6
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 補修要領図(2) S=1:50

断面修復工・表面保護工・ひびわれ補修工

適用	補修標準図5	断面修復 (はつり厚30mm)	適用	補修標準図6	ひびわれ充填																																																		
		<p>断面修復工数量表 100m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はつり工</td> <td></td> <td>m³</td> <td>2.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断面修復材</td> <td>セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系</td> <td>m³</td> <td>3.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>殻処理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>2.10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. はつり工の厚さを、平均t=30mmとして、断面復旧工を算出。 2. はつり工数量は断面復旧材の70%と推定して算出。 3. 鉄筋のさびを確認した場合は、鉄筋背面及び発錆範囲より10分まではつりを行うこと。 4. 露出した鉄筋は電動ワイヤーカップ等で錆を除去して、鉄筋防錆材を塗布する。 5. 下地処理にプライマー塗布すること。 6. 使用材料の性能は、特記仕様書の規格を満足するものとする。</p>	名称	規格	単位	数量	備考	はつり工		m ³	2.10		断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	3.00		殻処理		m ³	2.10			<p>ひびわれ幅 $1.0 \leq W$</p> 	<p>ひびわれ充填(A) 数量表 (電気防食工施工範囲) 100m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シール材</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td>21.5</td> <td>比重2.15</td> </tr> <tr> <td>プライマー材</td> <td>アクリル系</td> <td>kg</td> <td>0.2</td> <td>標準0.1kg/m²使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>ひびわれ充填(B) 数量表 (電気防食工施工範囲外) 100m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シール材</td> <td>可とう性エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>12.0</td> <td>比重1.20</td> </tr> <tr> <td>プライマー材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>1.0</td> <td>標準0.5kg/m²使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. ひびわれ充填の対象としては、クラック幅が1.0mm以上のものとする。 2. 遊離石灰を伴ったクラック部分に運用する。 3. 使用材料の性能は、特記仕様書の規格を満足するものとする。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	シール材	セメント系	kg	21.5	比重2.15	プライマー材	アクリル系	kg	0.2	標準0.1kg/m ² 使用	名称	規格	単位	数量	摘要	シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	12.0	比重1.20	プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用
名称	規格	単位	数量	備考																																																			
はつり工		m ³	2.10																																																				
断面修復材	セメントモルタル系 ポリマーセメントモルタル系	m ³	3.00																																																				
殻処理		m ³	2.10																																																				
名称	規格	単位	数量	摘要																																																			
シール材	セメント系	kg	21.5	比重2.15																																																			
プライマー材	アクリル系	kg	0.2	標準0.1kg/m ² 使用																																																			
名称	規格	単位	数量	摘要																																																			
シール材	可とう性エポキシ樹脂	kg	12.0	比重1.20																																																			
プライマー材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用																																																			
適用	補修標準図7	ひびわれ注入																																																					
	<p>ひびわれ幅 $0.2 \leq W < 1.0$</p> 	<p>ひびわれ注入(A) 数量表 (電気防食工施工範囲) 100m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td>0.9</td> <td>比重1.50</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>24.0</td> <td>比重1.60</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ひびわれ注入(B) 数量表 (電気防食工施工範囲外) 100m²当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂注入材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>0.7</td> <td>比重1.15</td> </tr> <tr> <td>シール材</td> <td>エポキシ樹脂</td> <td>kg</td> <td>24.0</td> <td>比重1.60</td> </tr> <tr> <td>注入器具</td> <td></td> <td>本</td> <td>400</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 樹脂注入量はクラックの幅0.2mm、深さ30mmと仮定して算出。 2. シール材は幅50mm、厚さ3mmとして算出。 3. ひびわれ注入の対象としてはクラック幅が0.2mm以上のものとする。 4. 注入器具の設置間隔は、標準250ピッチ(200~400mm)とした。 5. 使用材料の性能は、特記仕様書の規格を満足するものとする。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	セメント系	kg	0.9	比重1.50	シール材	エポキシ樹脂	kg	24.0	比重1.60	注入器具		本	400		名称	規格	単位	数量	摘要	樹脂注入材	エポキシ樹脂	kg	0.7	比重1.15	シール材	エポキシ樹脂	kg	24.0	比重1.60	注入器具		本	400														
名称	規格	単位	数量	摘要																																																			
樹脂注入材	セメント系	kg	0.9	比重1.50																																																			
シール材	エポキシ樹脂	kg	24.0	比重1.60																																																			
注入器具		本	400																																																				
名称	規格	単位	数量	摘要																																																			
樹脂注入材	エポキシ樹脂	kg	0.7	比重1.15																																																			
シール材	エポキシ樹脂	kg	24.0	比重1.60																																																			
注入器具		本	400																																																				

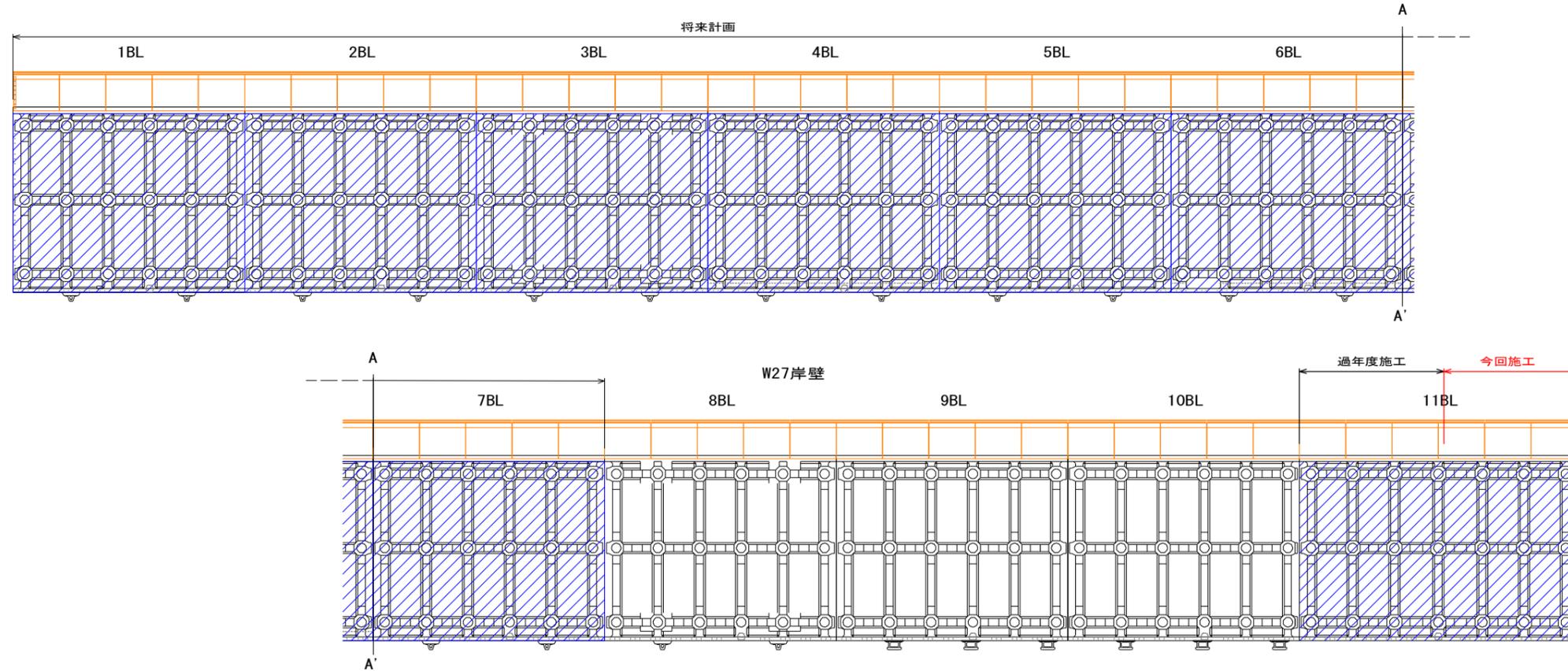
注記

- 1) 特記なき材質は、SS400とする。
- 2) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 補修要領図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	7
発注機関名	四日市港管理組合		

電気防食範囲図(1)

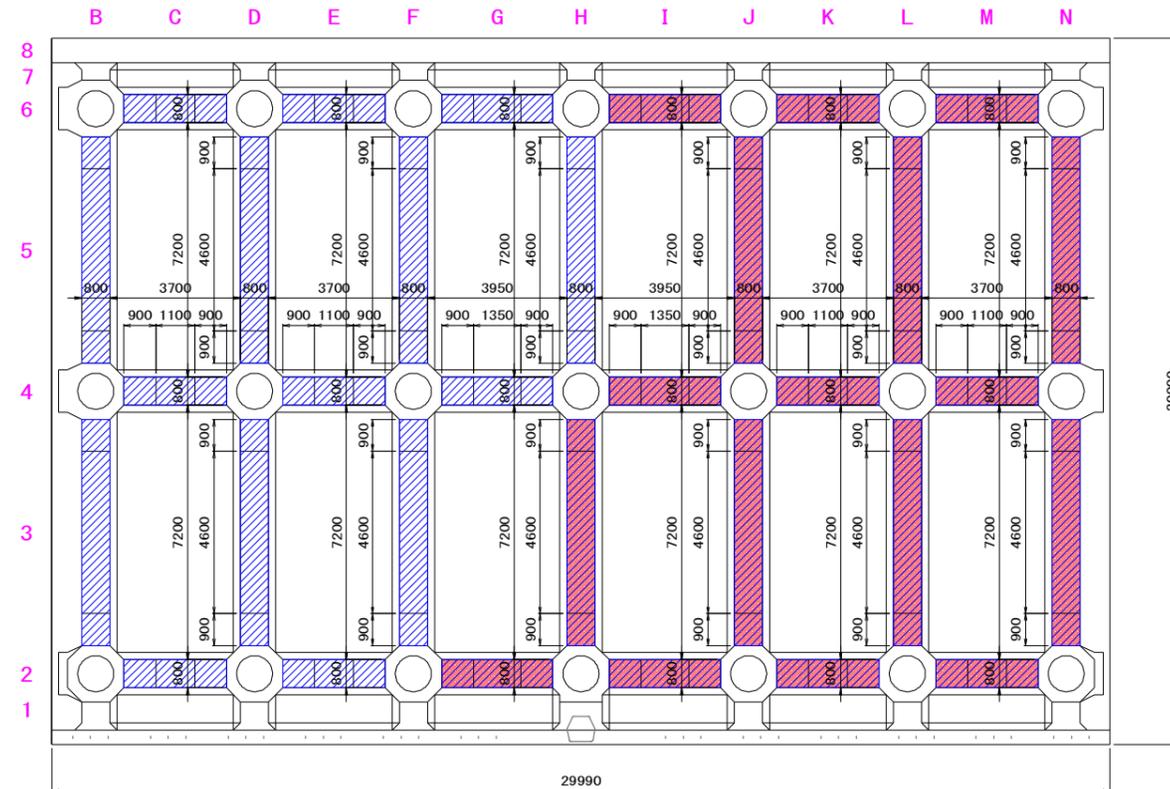
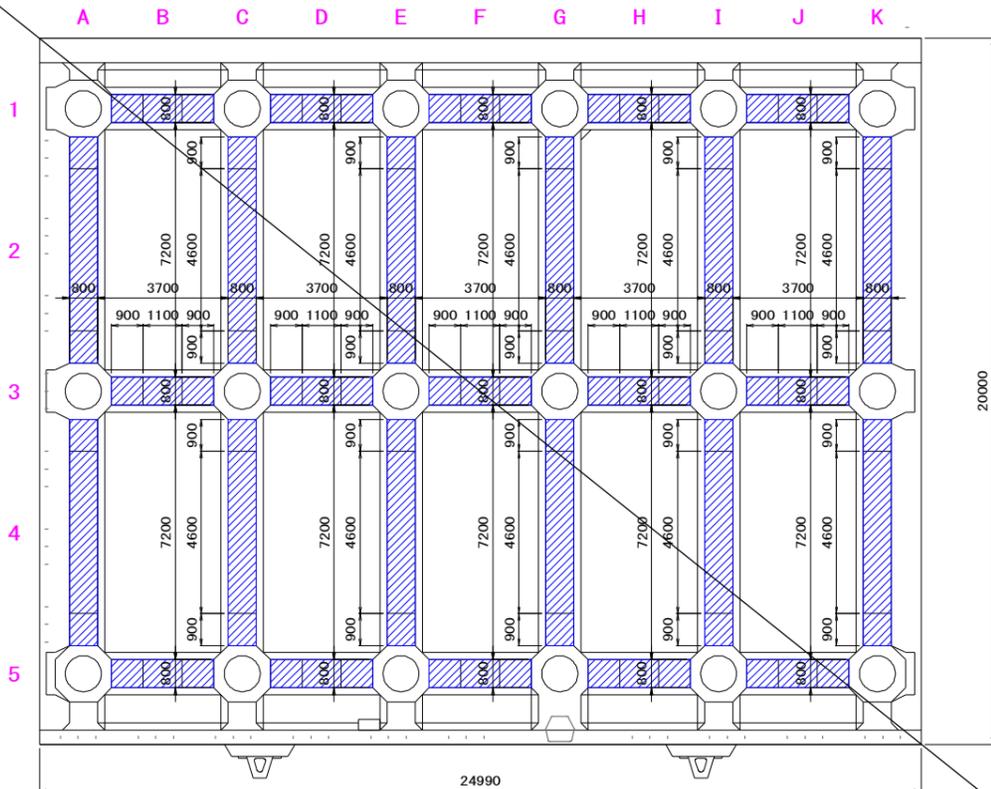
全体平面図 S=1:300



施工範囲外
ブロック平面図 S=1:100
W27岸壁 1~7BL

施工範囲 (赤色部)
ブロック平面図 S=1:100
W27岸壁 11BL

: 電気防食範囲

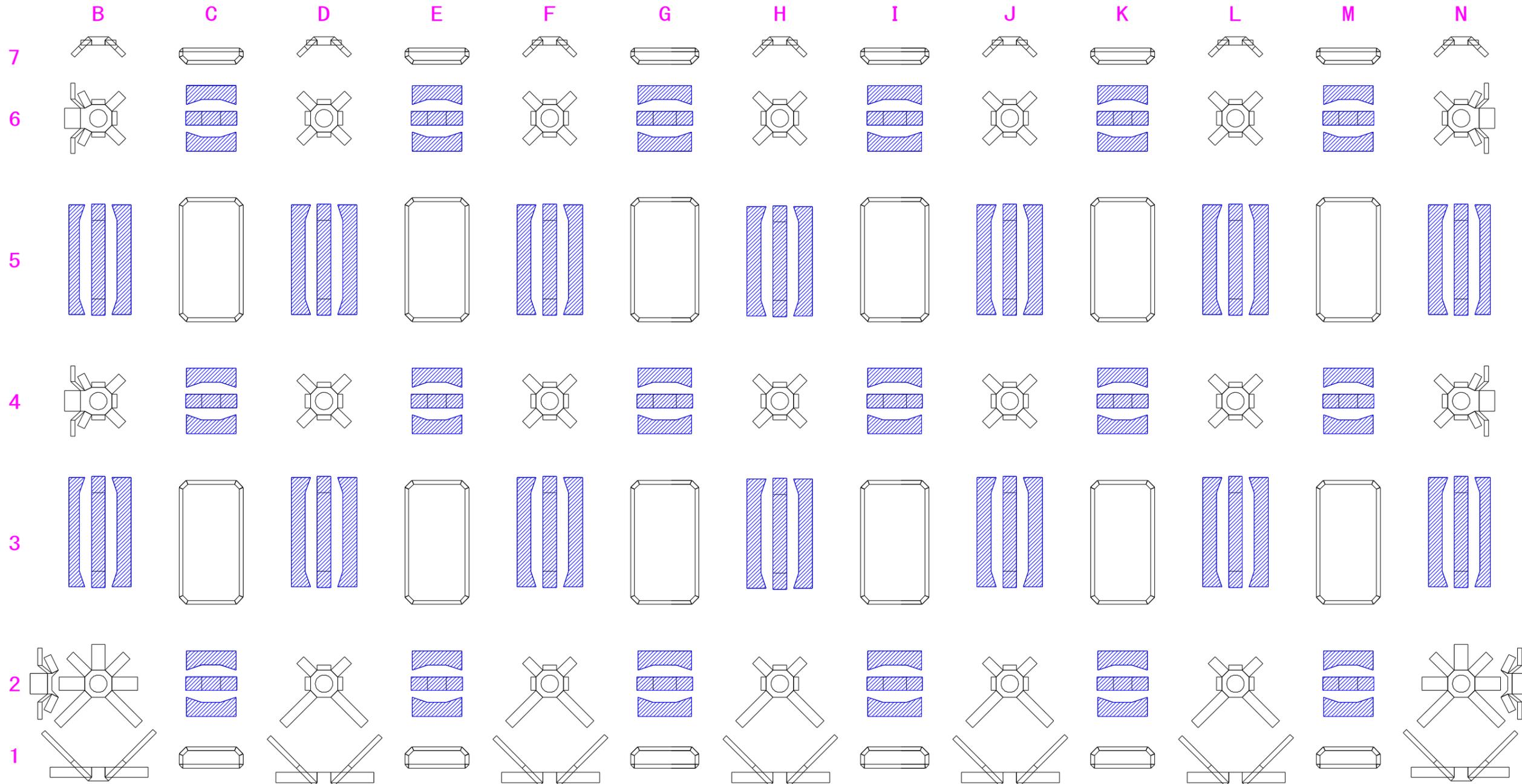


工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	電気防食範囲図(1)		
縮尺	図示	図面番号	8
発注機関名	四日市港管理組合		

電気防食範囲図(2)

ブロック展開図 S=1:125

W27岸壁 11BL

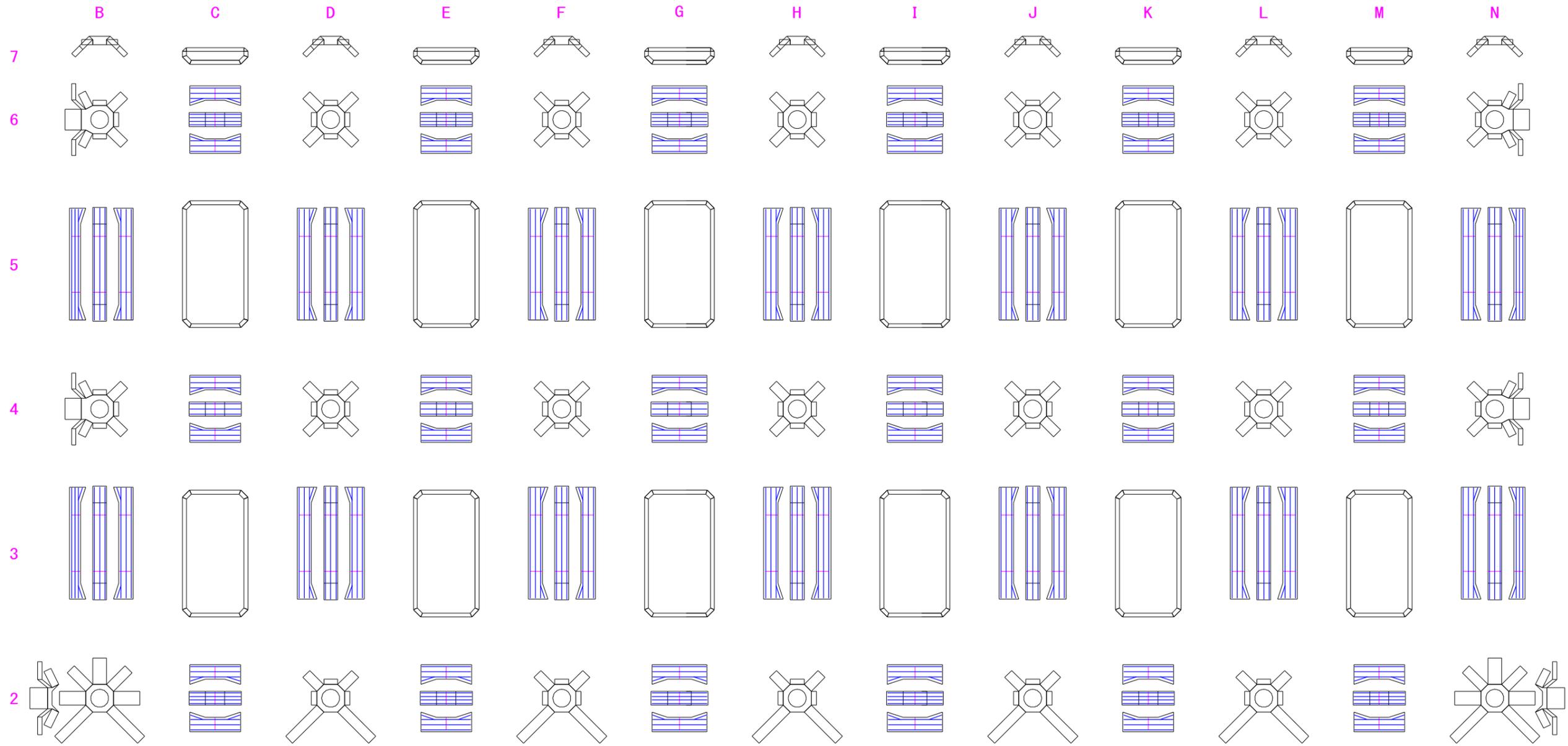


 : 電気防食範囲

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	電気防食範囲図(2)		
縮尺	図示	図面番号	9
発注機関名	四日市港管理組合		

陽極配置展開図(1) S=1:125

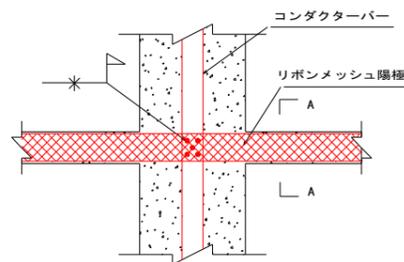
W27岸壁 11BL



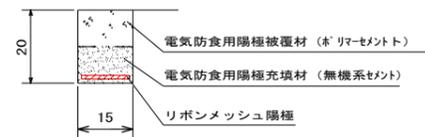
凡例

- : リボンメッシュ陽極
- : コンダクターバー

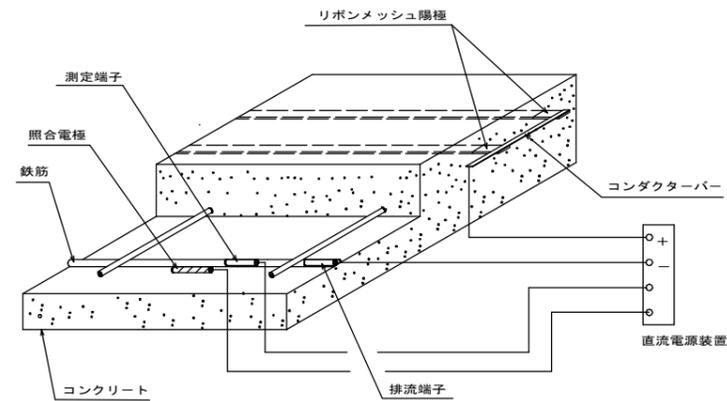
陽極およびコンダクターバー接続要領図



陽極詳細図 (A-A断面図)



電気防食概念図



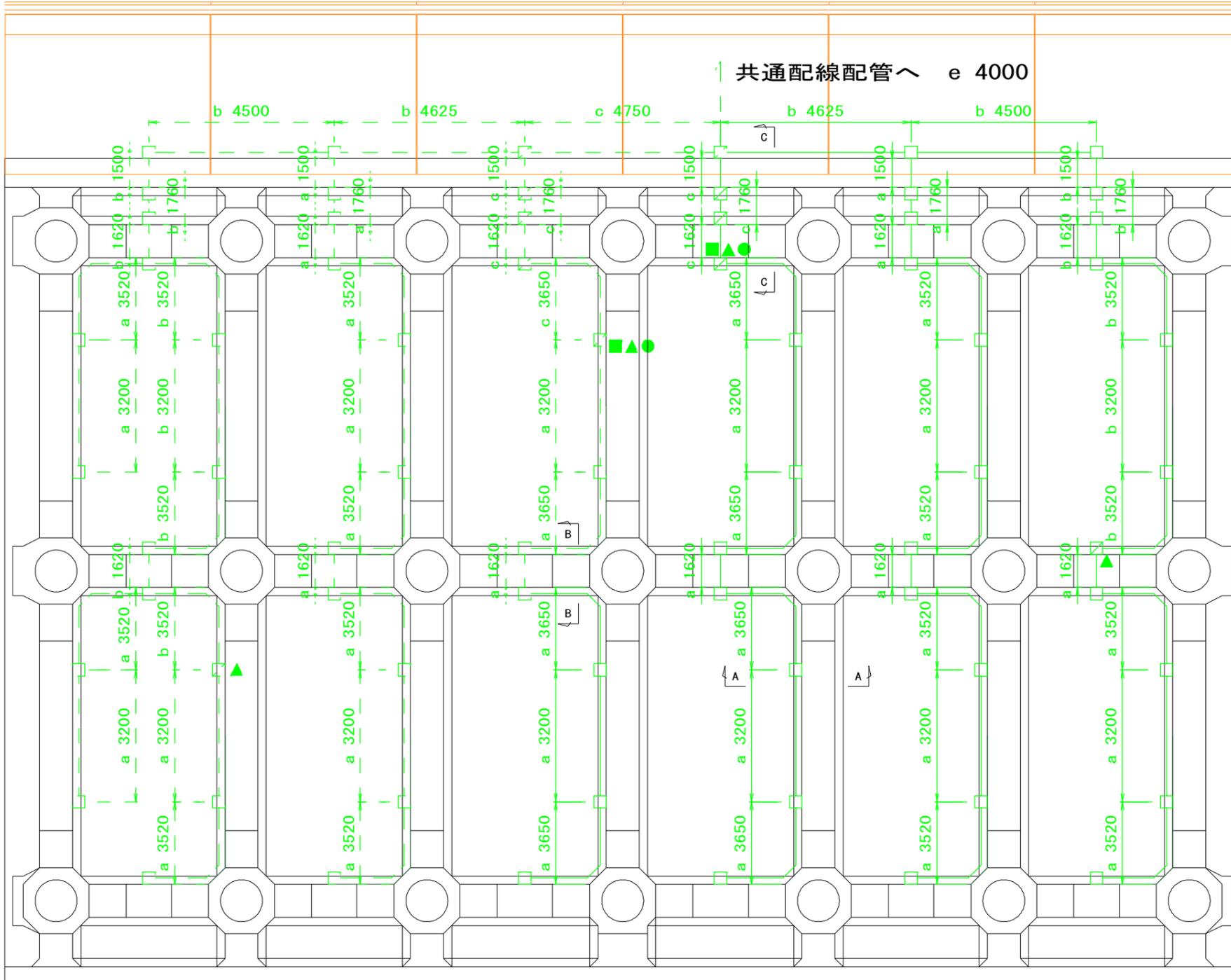
工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	陽極配置展開図(1)
縮尺	図示 図面番号 10
発注機関名	四日市港管理組合

ブロック内配線配管図(1)

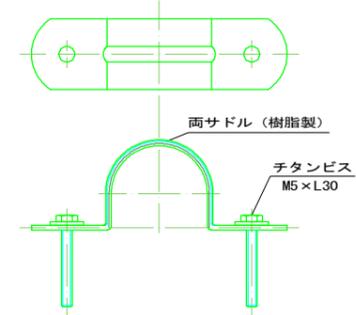
W27岸壁 11BL

ブロック平面図 S=1:60

※点線線部は過年度施工

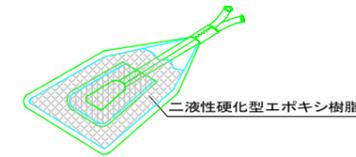


配管支持材詳細図 S=NON



※設置間隔は500mm程度を基本とする。

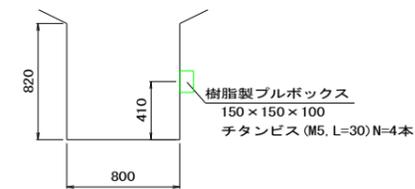
配線結線部施工詳細図 S=NON



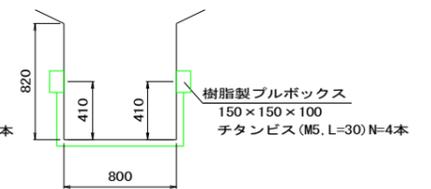
凡例

配線配管	
a: EM 600V CE /F 3.5sq-1C	×1本
二重波付可とう電線管 PFD16	×1本
b: EM 600V CE /F 3.5sq-1C	×2本
二重波付可とう電線管 PFD22	×1本
c: EM 600V CE /F 3.5sq-1C	×2本
EM CEE /F-S 2.0sq-2C	×1本
二重波付可とう電線管 PFD28	×1本
d: EM 600V CE /F 3.5sq-1C	×2本
EM CEE /F-S 2.0sq-4C	×1本
二重波付可とう電線管 PFD28	×1本
e: EM 600V CE /F 22sq-2C	×1本
EM CEE /F-S 2.0sq-4C	×1本
波付硬質合成樹脂管 FEP40	×1本
樹脂製プルボックス	
□ : 150×150×100	
▣ : 200×200×100	
照合電極・端子等	
○ : 二酸化マンガ照合電極	
□ : 測定端子	
△ : 排流端子	

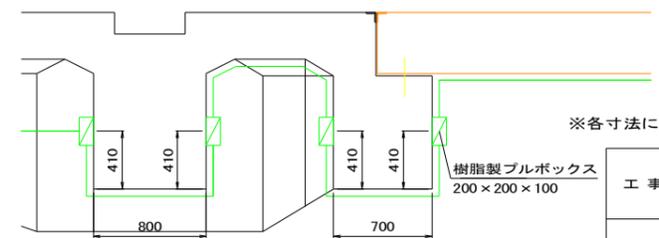
A-A断面



B-B断面



C-C断面

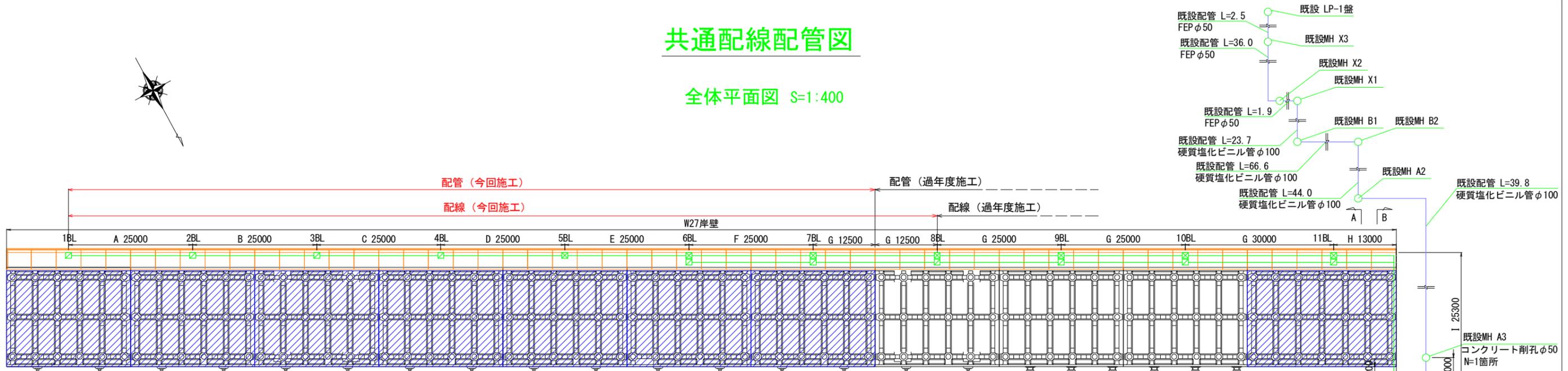


※各寸法については、現場で確認を行うこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	ブロック内配線配管図(1)
縮尺	図示 図面番号 12
発注機関名	四日市港管理組合

共通配線配管図

全体平面図 S=1:400



凡例

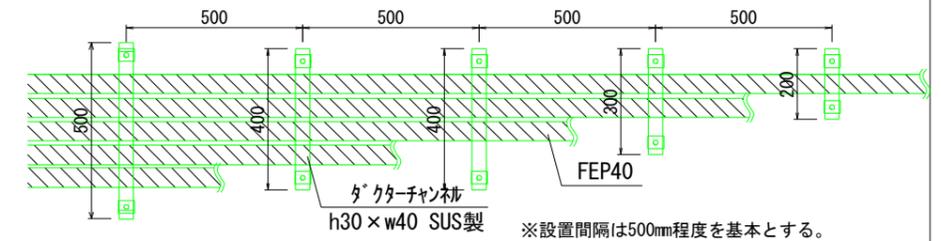
配線配管

A: EM 600V CE /F 22sq-2C ×1本	D: EM 600V CE /F 22sq-2C ×4本	G: EM 600V CE /F 22sq-2C ×7本
EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×1本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×4本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×7本
波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×1本	波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×4本	波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×7本
B: EM 600V CE /F 22sq-2C ×2本	E: EM 600V CE /F 22sq-2C ×5本	H: EM 600V CE /F 22sq-2C ×8本
EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×2本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×5本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×8本
波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×2本	波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×5本	波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×8本
C: EM 600V CE /F 22sq-2C ×3本	F: EM 600V CE /F 22sq-2C ×6本	可とう性電線管G36 SUS304 ×8本
EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×3本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×6本	I: EM 600V CE /F 22sq-2C ×8本
波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×3本	波付硬質合成樹脂管 FEP40 ×6本	EM CEE /F-S 2.0sq-4C ×8本
		電線管G36 SUS304 (ねじあり) ×8本
		可とう性電線管G36 SUS304 ×8本

樹脂製プルボックス

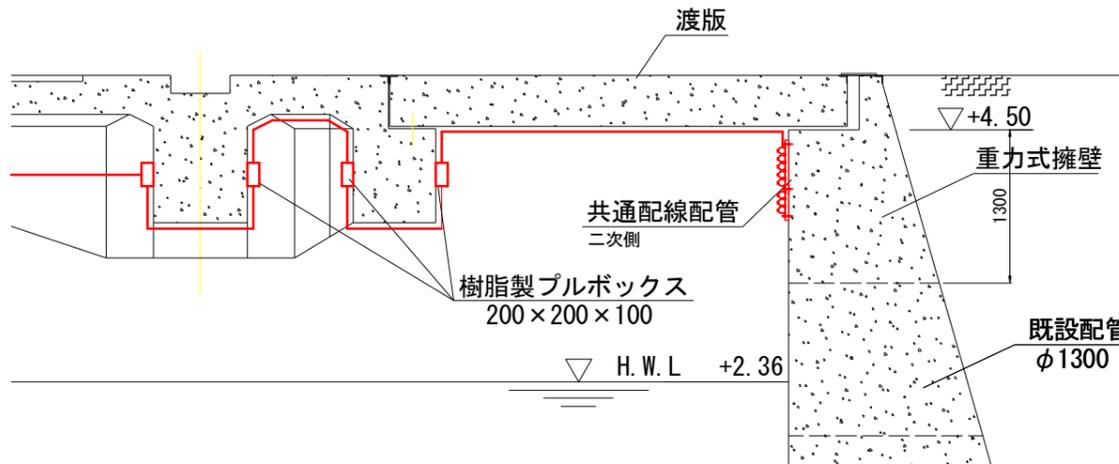
- : 200×200×200
- ⊠ : 300×300×300

共通配管施工図 S=NON



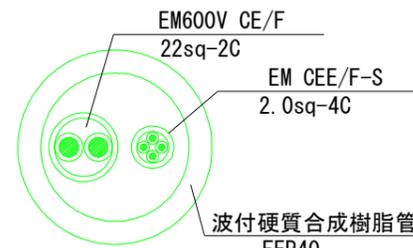
共通配管施工断面図 S=NON

(A-A断面図)

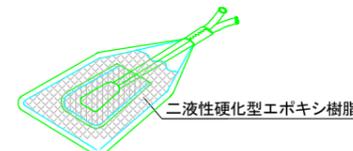


配管内部詳細図 S=NON

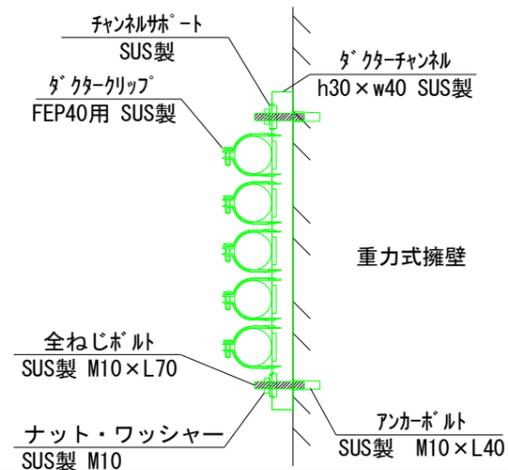
(二次側配線)



配線結線部施工詳細図 S=NON



共通配管施工詳細図 S=NON

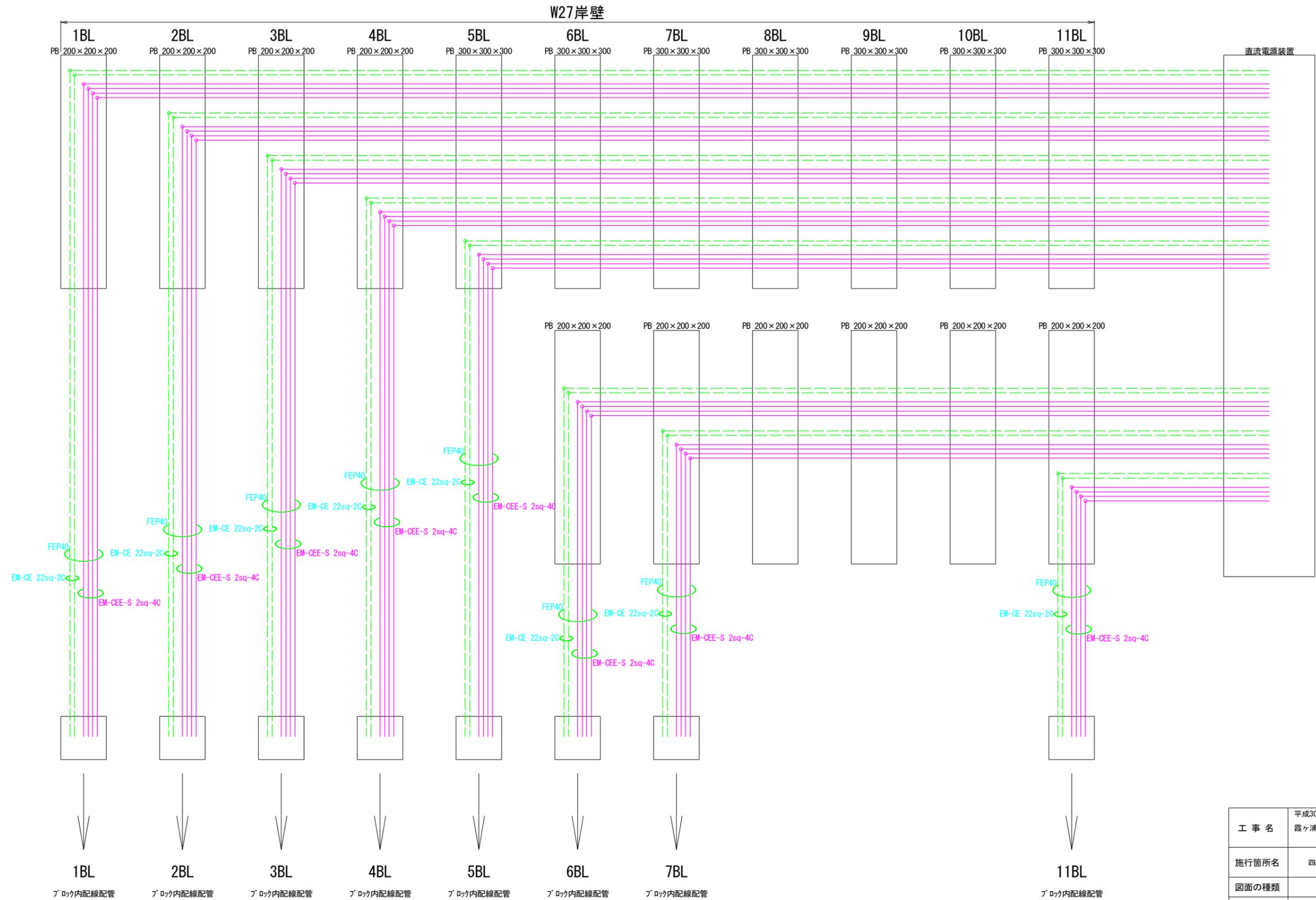


※各寸法については、現場で確認を行うこと。
※一次側配線はEM 600V CE/F 38sq-3c

工 事 名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	共通配線配管図		
縮 尺	図示	図面番号	13
発注機関名	四日市港管理組合		

共通配線配管系統図

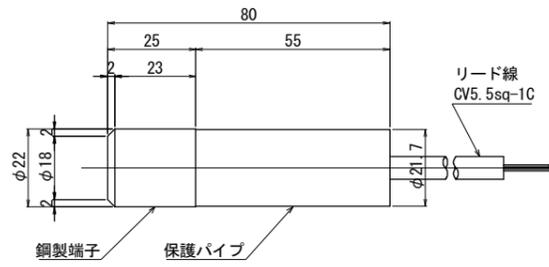
配線系統図 S=NON



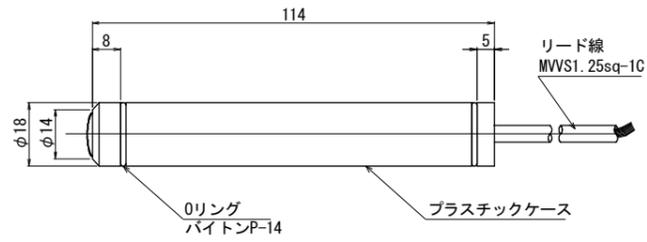
工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	共通配線配管系統図		
縮尺	図示	図面番号	14
発注機関名	四日市港管理組合		

電気防食工 主材料図

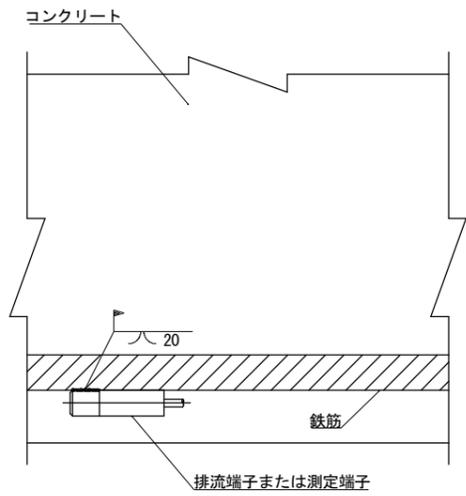
排流端子または測定端子 S=1:1



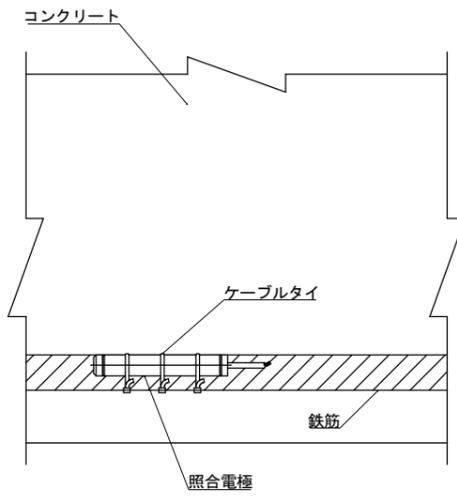
二酸化マンガン照合電極 S=1:1



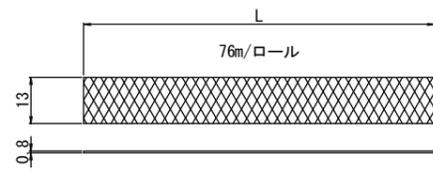
排流端子または測定端子取付要領図 S=1:3



照合電極取付要領図 S=1:3

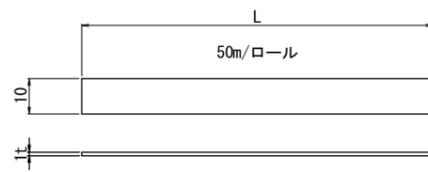


リボンメッシュ陽極 S=1:1



材質：高純度チタン（JIS H 4600 1種相当）
 皮膜：混合貴金属酸化物（Ir）
 性能：NACEによる促進試験において450h以上で
 電圧が4V以上上昇しないこと

コンダクターバー S=1:1



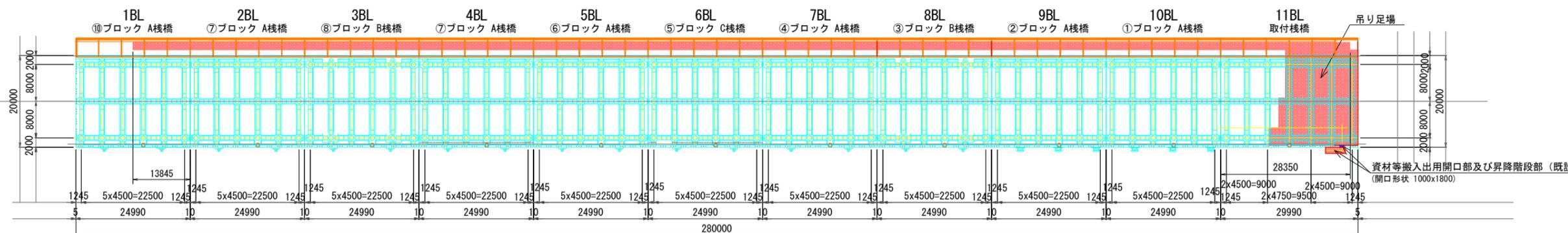
工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁（-12m）改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	電気防食工 主材料図		
縮尺	図示	図面番号	15
発注機関名	四日市港管理組合		

四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その1) S=1:500

(全体配置図)



施工箇所



注記

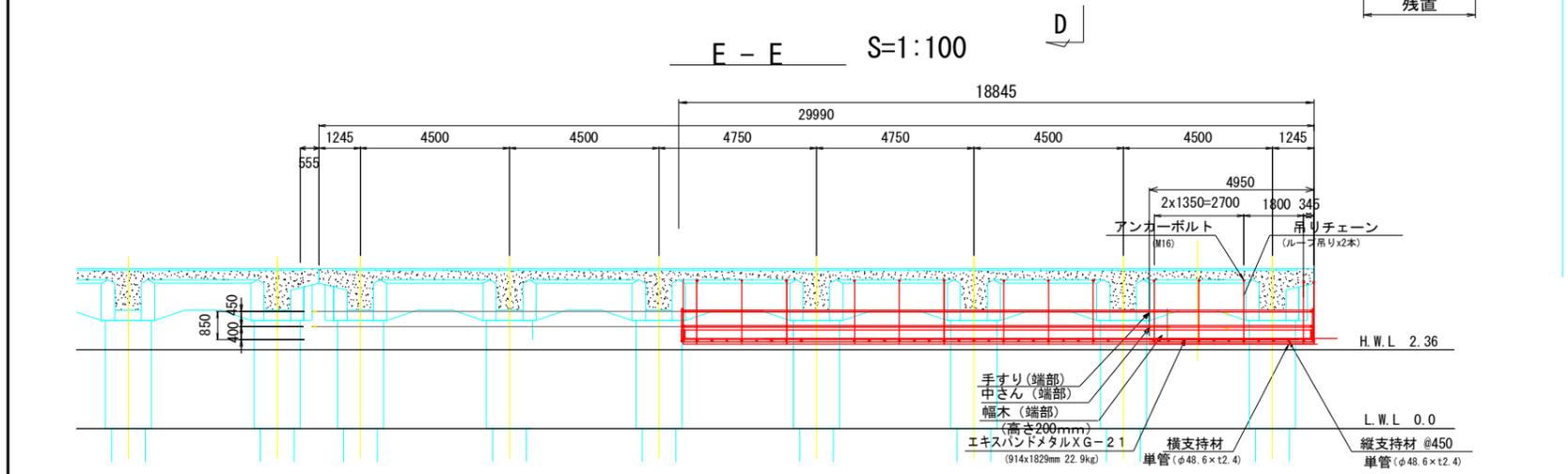
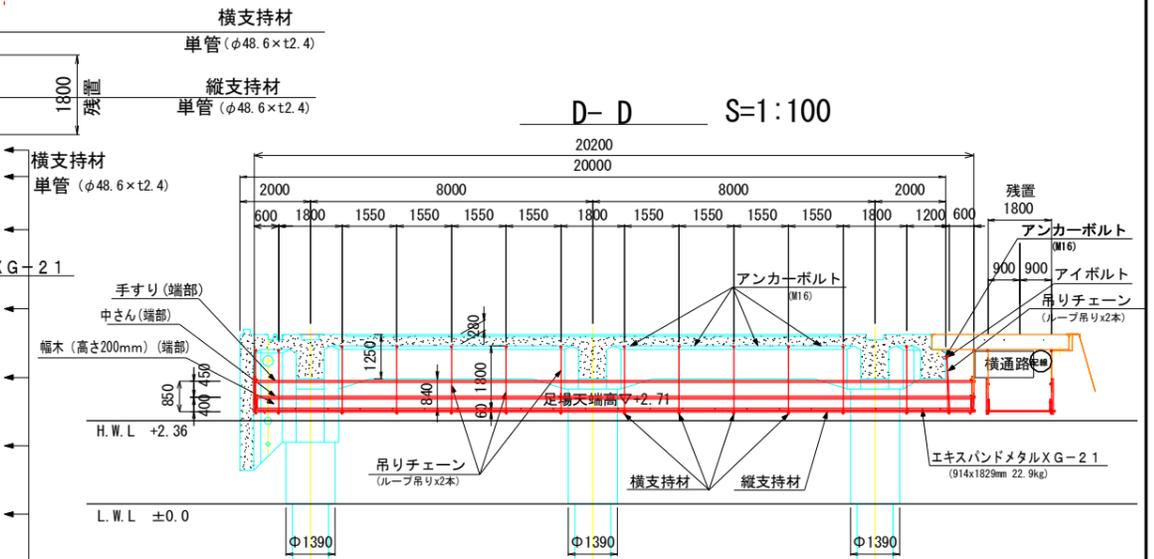
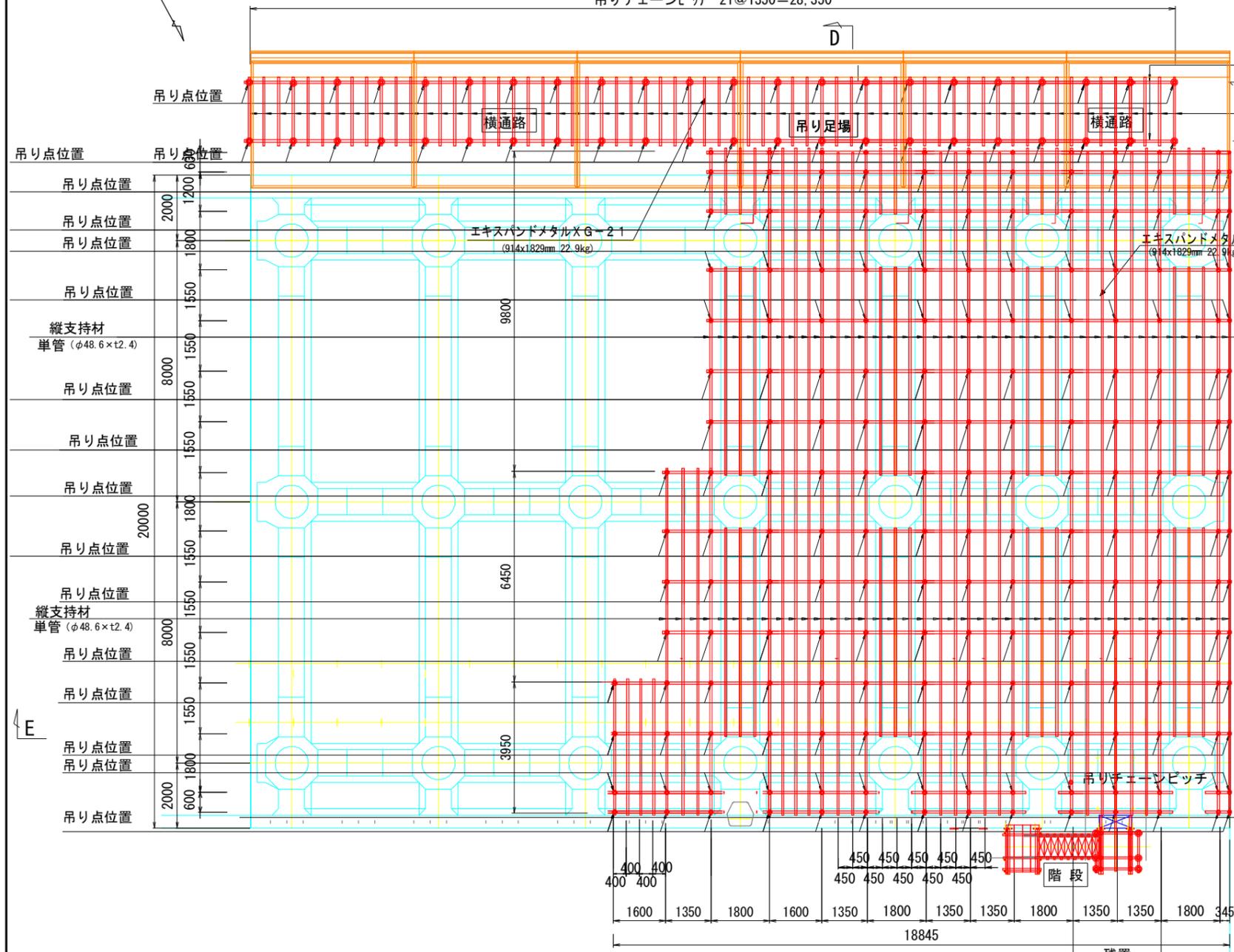
- 1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。
- 2) は、吊り足場を示す。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁(-12m)改良工事		
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先		
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その1)		
縮尺	1:500	図面番号	16
発注機関名	四日市港管理組合		

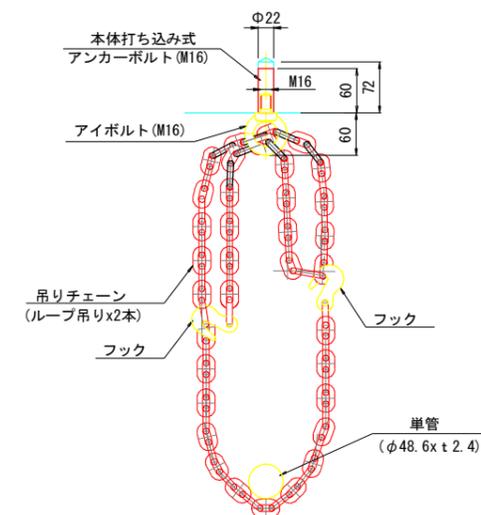
四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その2)

S=N. S (11BL 足場構造)

吊りチェーンピッチ 21@1350=28,350



アンカーボルト詳細 S=1:5 (参考施工例)



注記

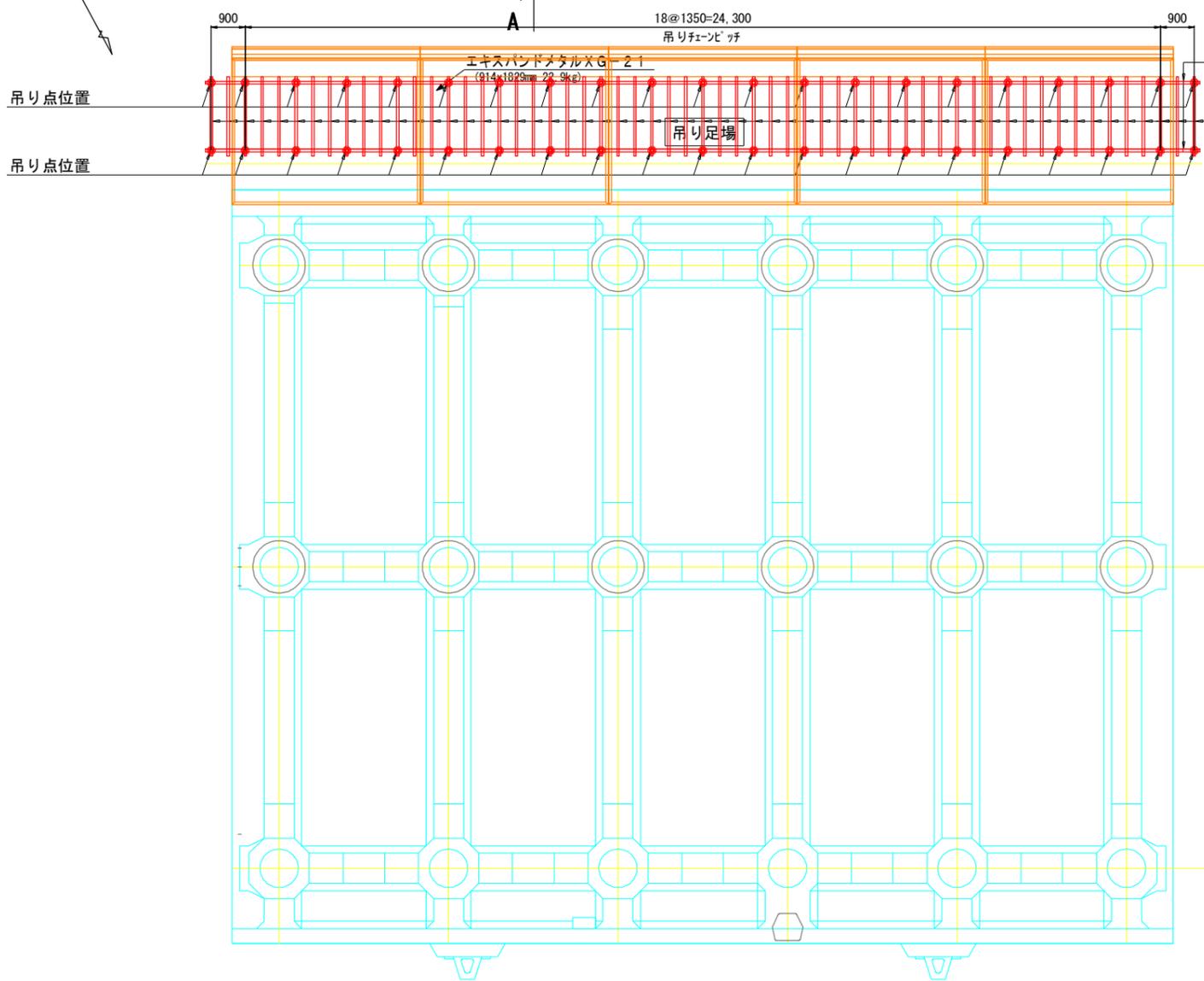
1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その2)
縮尺	図示 図面番号 17
発注機関名	四日市港管理組合

四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その3)

(2~10BL 足場構造)

S=N.S



吊り点位置

吊り点位置

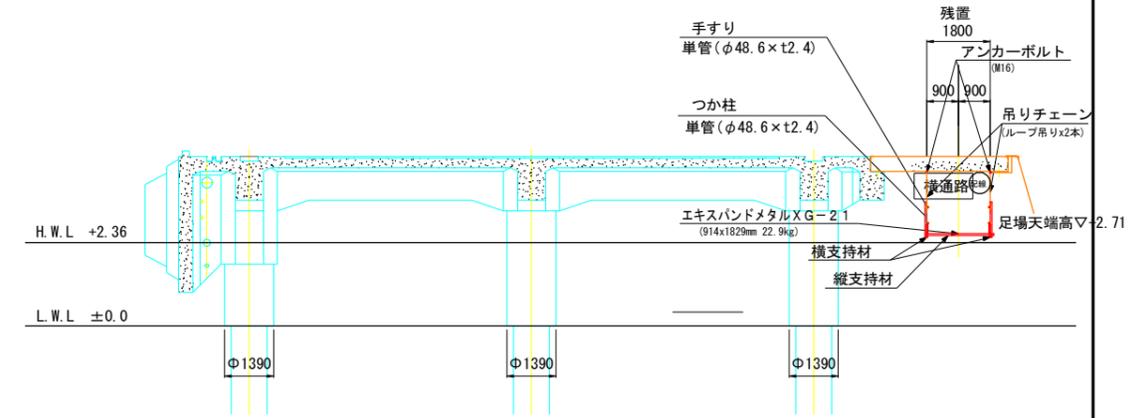
B

C

B

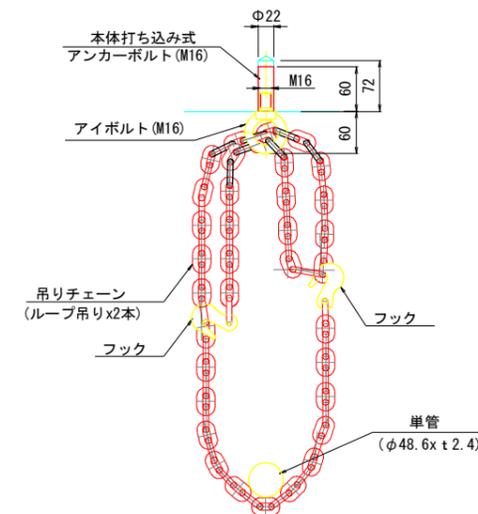
C

A-A S=1:100



アンカーボルト詳細 S=1:5

(参考施工例)



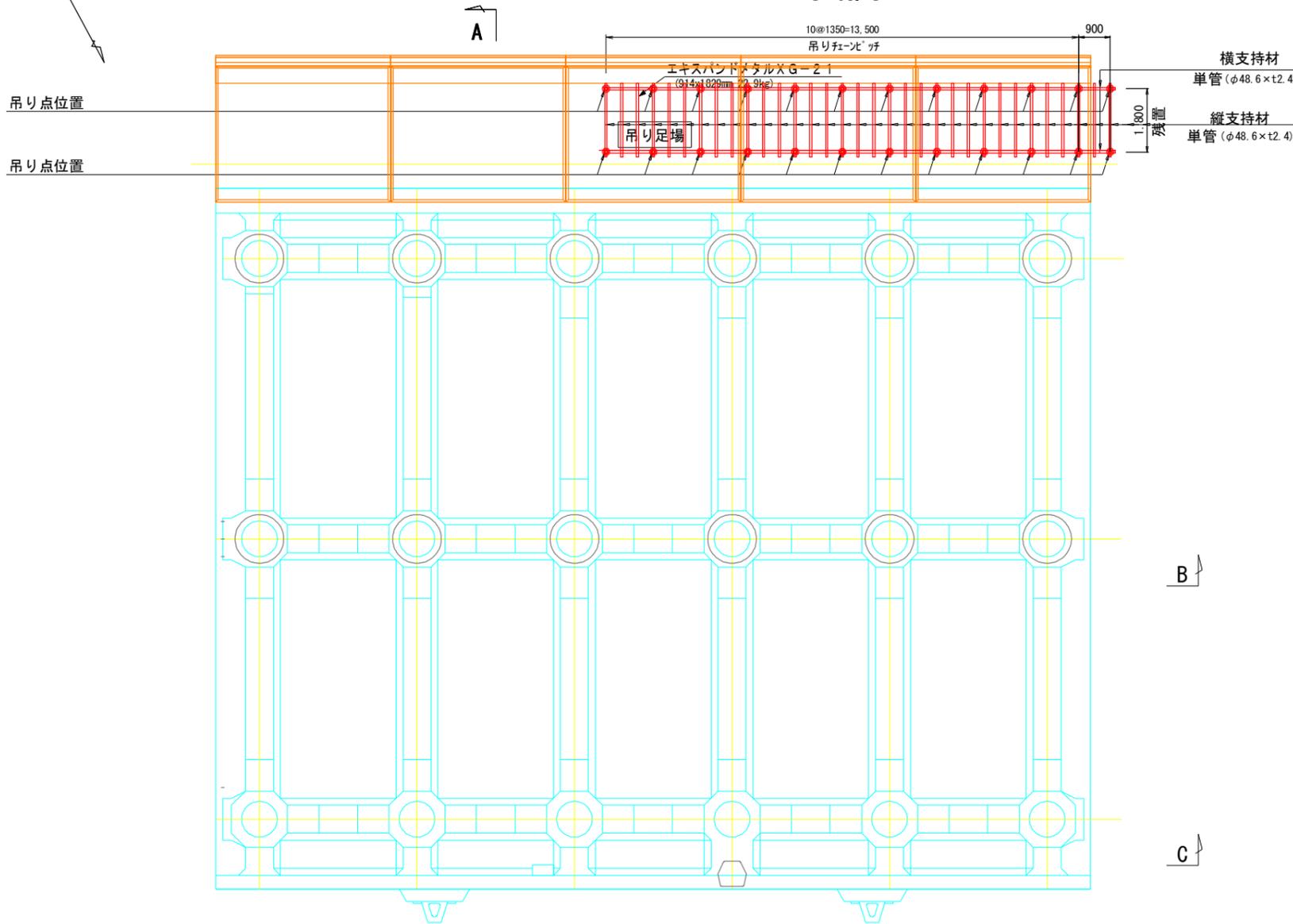
注記
1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その3)
縮尺	図示 図面番号 18
発注機関名	四日市港管理組合

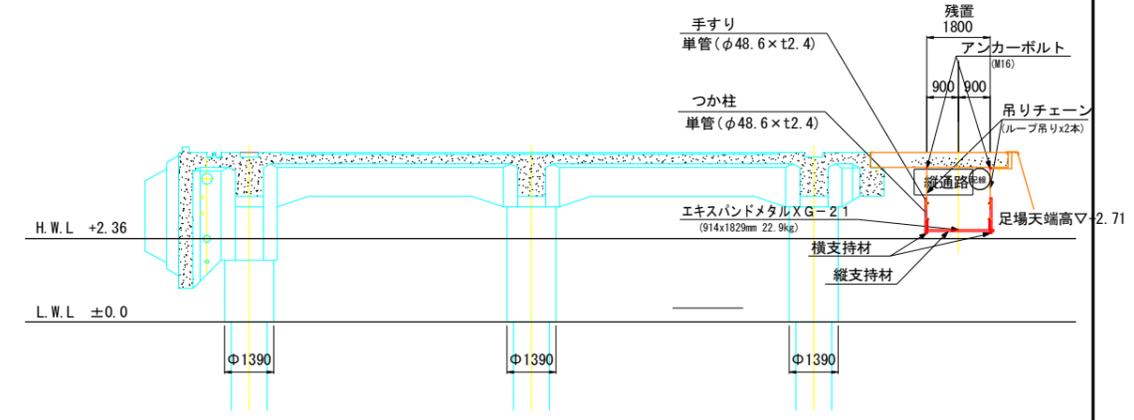
四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その4)

(1BL 足場構造)

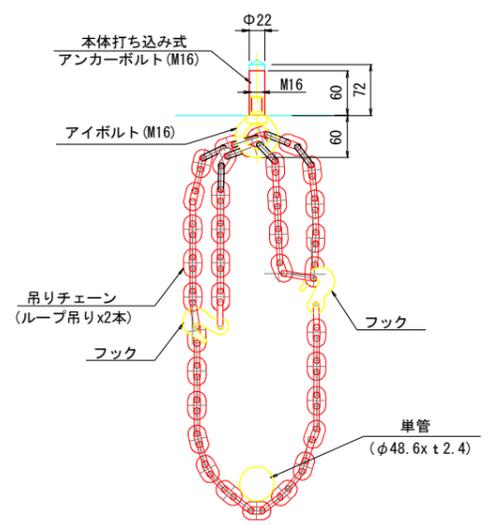
S=N. S



A - A S=1:100



アンカーボルト詳細 S=1:5
(参考施工例)

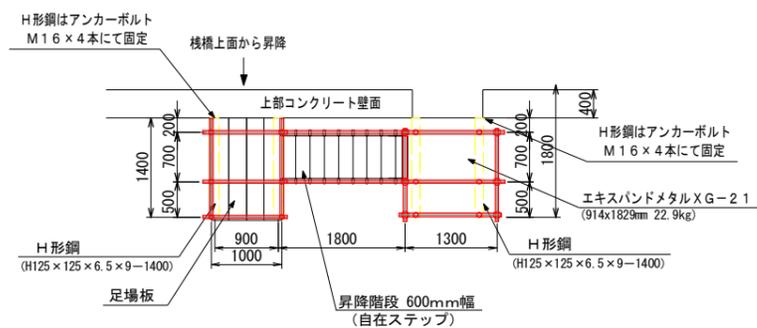


注記
1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

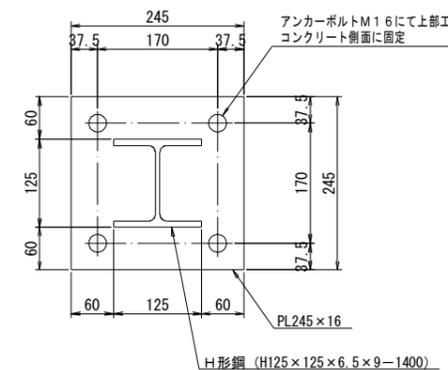
工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その4)
縮尺	図示 図面番号 19
発注機関名	四日市港管理組合

四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その5) 既設 (11BL 足場構造)

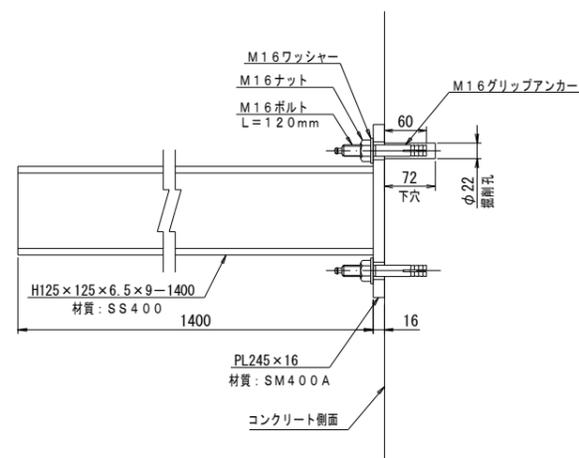
昇降階段部詳細図 (平面図) S=1:50



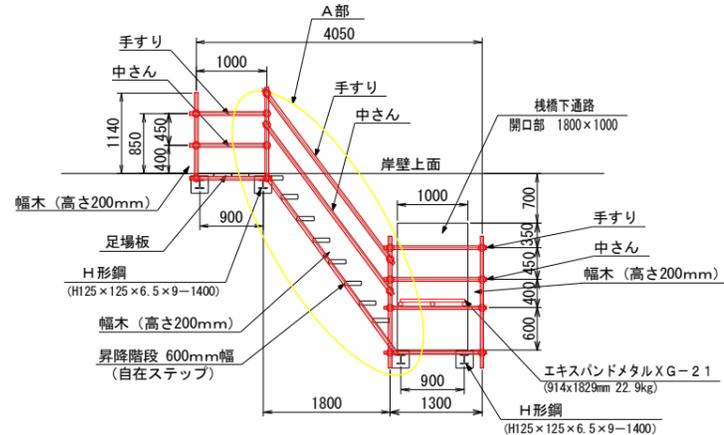
H形鋼部詳細図 (正面図) S=1:5



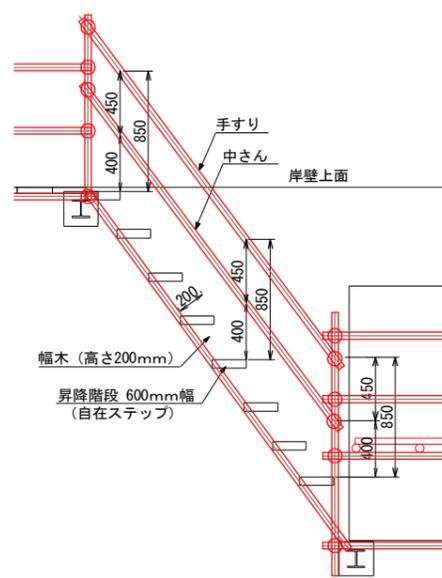
H形鋼部詳細図 (断面図) S=1:5



昇降階段部詳細図 (正面図) S=1:50



A部詳細図 S=1:25



注記

1) 各寸法は、現場計測にて確認のこと。

工事名	平成30年度 霞ヶ浦地区27号岸壁 (-12m) 改良工事
施行箇所名	四日市市 霞二丁目 地先
図面の種類	四日市コンテナ岸壁W27 足場図 (その5)
縮尺	図示 図面番号 20
発注機関名	四日市港管理組合